

事業所名		風の子びれっじ空Kuu				公表日	令和 8 年 2 月 25 日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・状況に応じて空間分離等行いながら使用している。	・必要に応じて個々に集中しやすい環境を構築していく。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・法令基準を遵守し、必要な資格者を必要な人数、配置している。	・人員欠如とならないよう、採用活動を継続しながら運営を行っている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・利用者様の応じて個別のスケジュールや視覚的支援を行っている。	・個々の特性に応じてわかりやすい構造化された環境づくりを進めていく。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・毎日サービス提供後、清掃および消毒作業を実施している。 ・当日利用者様に応じて設定している。	・利用者様にとって過ごしやすくなりやすい環境を突き詰めていく。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・必要に応じて個別空間等を設定して過ごしていただいている。 ・必要な方が重なった場合はパーテーションで区切っている。	・必要な方の利用が重なることもあるため、個別スペースを新たに検討していく。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		・毎月事業所の行動目標を設定し、PDCA サイクルを回しながら運営を行っている。	・継続してPDCAを回し続け、質の向上を目指していく。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・毎年評価表にご協力いただき、ご意見を参考に翌年度の運営改善につなげている。	・アンケートでいただいた貴重なご意見を反映し、改善内容を周知していく。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・都度話し合い改善を行い、全スタッフに共有している。	・継続して職員間で話し合いを行い、業務改善につなげていく。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	・現状行うことができていない。	・今後検討していく。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・毎月動画研修、3ヶ月に1度外部講師研修を含めた社内研修を実施している。	・引き続き外部講師の方の研修や資質の向上のための法人内での各種研修を実施していく。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・支援プログラムについて、適切に作成し自社HPにて公表済みである。	・来年度には、再度支援プログラムの見直しを行い、都度更新していく。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		・ご利用後、日報や各記録を通じてアセスメントを行い、話し合い、その情報も含めて個別支援計画に反映させている。	・都度アセスメントを更新し、変更点や不明点があれば保護者様や関係機関に確認していく。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・会議にて他職員との話し合いを通して、個別支援計画を作成している。	・最善の利益とは何かを関係者で共有し、統一した支援を行うことができるよう進めていく。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・日々計画を確認しながら支援を行っている。	・継続して共有、確認を行い、支援を行っている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・発達検査の結果を確認、日々行動観察をアセスメントしている。	・都度必要に応じて再アセスメントし、情報を更新しながら実施していく。	

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・本人支援以外の項目に関しても、個別支援計画に盛り込み、作成している。 ・個々に必要な項目を設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族支援や移行支援について、個々のライフステージに応じた計画を立てさせていただき、切れ目のない支援を実施していく。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・チームで意見を出し合い、立案を行っている。 ・プログラムの目的や利用者様に合わせて内容を設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・継続してチームで話し合い、立案を行っていく。 ・プログラムの目的・支援方法を再確認しチームで進めていく。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・活動の選択制や季節を考え、四季を感じることができる活動を計画、実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・曜日活動の内容を変更し季節に合わせて固定化しないように対応していく。 ・意思形成支援に必要な体験機会を提供していく。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・個別及び集団活動組み合わせを計画を設定し、支援を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発達段階に合った個別及び集団活動を組み合わせ、ニーズに応じた支援を行っていく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・当日の打合せを行い、利用者様や個々の特性を考慮した配置や役割を決めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・役割分担および支援内容、注意事項等共有し、全体で支援を実施していく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・一日を通して気付いた点など日々の日報、連絡ノート、社内連絡ツールを通じて共有している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・様子の共有を話し合いを行い、改善へとつなげていく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・一日を通じて、どのように過ごしていたのか、活動や個別療育の内容と利用者様の様子について実施記録をとっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・よりわかりやすく実施記録を保護者様へお伝えしていく。 ・時間や回数、その時の様子などをより細かく、情報を収集し分析・改善を行う。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・定期的にモニタリング会議を実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・半年に一度のペースで行っているが、必要があれば短い期間で実施していく。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・集団、個別療育等、各基本活動を組み合わせ、支援を実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ガイドラインの共有を新しい職員にも行い、チームでガイドラインに則った支援を考えていく。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・活動内容や場所、おやつ、買い物、自由時間等で、選択肢を複数設けており、自己選択自己決定をする機会をつくっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己選択の土台となる様々な経験を活動で育んでいただき、その上で自分で選ぶ経験を増やしていく。 	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援管理責任者や担当スタッフが出席している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・状況によって、女性メンバーさんの時は女性保育士が出席する等の対応も行う。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて関係機関との連携を図っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各関係機関との連携後、事業所内での情報共有・支援につなげるまで円滑に行えるよう工夫していく。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・都度、不明点は学校迎えの際に、確認を行っている。必要であれば、電話にて連絡確認を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・出来るだけ情報の漏れがないよう、連絡シートを使用する等臨機応変に対応していく。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・サービス担当者会議などを中心に情報共有している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アセスメントシート等活用し、情報共有相互理解を促進していく。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて情報提供を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・就労継続支援事業所等に引継ぎを実施し、切れ目のない支援を行っていく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・地域アドバイザーを招いて研修を行っている。 ・児童発達支援センター主催の研修に参加している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き研修を受講し、必要に応じてスーパーバイズや助言をお願いしていく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・児童クラブとの関わりは実施できていないが、地域のイベントや公園遊びの際に交流している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後交流の機会を増やしていく。
	33	（自立支援）協議会等積極的に参加しているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・障害児通所支援事業所連絡会に、管理者児童発達支援管理責任者が参加している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き連絡会に出席し、他事業所との連携を図っていく。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・電話、メール、連絡帳などでやり取りを行い、送迎時にもお話をさせていただいている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・面談や送迎時の話し合い、茶話会や交流機会等を含め、相談しやすい体制を作っていく。
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・ペアレントトレーニング等研修は、実施できていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度ご家族で参加していただける研修会を企画していく。 	

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・契約時にお伝えさせていただいている。 変更がある場合は、書面や変更同意書にて説明を行っている。	・不明点は、解消に努めていく。 ・ご家庭により分かりやすい方法を用いて説明を行っている。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・利用者様にとって何が最善の利益かについて、面談等で職員・保護者様と意見を共有し意向を確認している。	・ご利用者様から意向の確認をする機会を増やしていく。 ・意思表示が難しい方は、ツールを使用して選択できるよう実施していく。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		・個別支援計画を提示して、説明同意を得ている。	・より丁寧でわかりやすい説明を行う。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・送迎時や電話にて連絡をいただいた内容に関して、事業所で共有・支援につなげている。	・ご要望に応じて面談を設定させていただき、相談内容に丁寧に対応していく。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	○		・茶話会を実施して、保護者様同士の交流の場を設定している。 ・風の子学園祭ではきょうだいで参加ができる機会をつくっている。	・年度毎計画、早めに事前告知すること また頻度を増やして開催していく。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・苦情を受けた際は、早急に責任者に報告対応、改善を図っている。	・苦情に関しては、社内で検討し個別対応を責任者を中心に実施、周知をしていく。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		・風の子だよりを作成、発信している。 また、HPやインスタグラムで情報を発信している。	・SNSの更新頻度を上げて発信していく。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・個人情報記載されている書類は、鍵付き書庫で保管、またシュレッダーで破棄している。	・取り扱いについては、都度法人内で見直しを行い、最善がどうか検討を行っている。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・個々に合わせた連絡方法、手段を用いて情報伝達を行っている。	・今後も個々に合わせた連絡手段を用いて情報伝達をしていく。
非常時等の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	・法人にて地域の方々に参加していただく学園祭を実施している。 ・スボレク祭、展示会、ハロウィン等地域イベントに参加した。 お月見どろぼうのイベントで事業所にもお越しいただいた。	・来年度、事業所のイベントの実施を検討していく。 ・引き続き地域のイベントに参加していく。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・風の子安心安全マニュアルを作成し、HP等で公表している。	・変更点があれば都度周知を徹底していく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・BCPIに沿って定期的に防災訓練を実施している。	・様々なケースや避難ルート、避難方法を実践していく。職員間すぐに対応できるような情報を共有していく。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		・事前に服薬依頼書の提出をお願いしており、職員間で共有確認している。	・定期的に薬の情報が更新されていないか確認を行い、都度アップデートをしていく。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○	・現在該当者がいない。	・現在該当者がいないため、今後検討していく。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・安全計画に則り、日々の研修や訓練を実施している。	・安全計画を年度毎に再度見直しを行い、HPにアップしていく。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		・安全計画に関しては、HPにも掲載し取り組み内容を周知している。	・安全計画のチェック表についても定期的にHPにアップしていく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・ヒヤリハットを作成し、都度記入共有をしている。	・より細かいヒヤリハットも収集し、大きな事故に対する未然防止策を策定していく。 また定期的に見直す機会を設けていく。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・適宜虐待防止委員会を開催して検討を行っている。また職員に対して、研修を行っている。	・都度、自治体で実施している虐待防止研修に参加。管理者だけでなく、直接処遇職員も参加している。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		・適宜身体拘束適正化委員会を開催して検討を行っている。また職員に対して、研修を行い、必要に応じて個別支援計画に記載し、対応している。	・身体拘束をせざるを得ないケースが発生した際は、必ず記録をとり、振り返りの会議を実施し、最短時間となるように環境整備や支援の見直しを実施し、身体拘束を行うことがない状態を目指していく。	